

26年度予算案を審査

3月定例会では、市長から一般会計予算をはじめ、予算関連議案20件が提案され、各常任委員会での議論を経て、いずれも原案のとおり可決しました。(全議案の審議結果は10ページをご覧ください。)

	予 算 額	対前年度比
26年度予算総額	476億2,701万円	2.2%増
一般会計	220億7,780万円	1.8%減
特別会計	158億5,699万円	4.1%増
企業会計	96億9,222万円	9.0%増

用語解説

- 一般会計**：福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと
- 特別会計**：一般会計とは別に国民健康保険事業や下水道事業など、特定の目的のために使われる会計のこと
- 企業会計**：水道事業や病院事業のように利用者が負担する経費(水道料金や診察料)によって運営される会計のこと
- 財政調整基金**：年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金。市の貯金のようなもの

一般会計予算の概要

- ▼当初予算額は3年連続の減額ですが、土地開発公社の解散に伴う貸付金及び貸付金収入の廃止を考慮すると、実質3.1%増(6億9,030万円)の積極予算となっています。
- ▼歳入予算では、市税等で対応しきれない費用を、主に財政調整基金からの繰り入れ(約7億8,600万円 対前年度比91.3%増)によってまかっています。
- ▼歳出予算では、補助費等が対前年度比21.1%増と大幅に増加しています。これは消費税率引き上げに伴う影響を緩和するための国の給付金等が主な要因と考えられます。また、東臨港2号線の整備費の増額等により、普通建設事業費が対前年度比8.4%増となっています。

3月25日 本会議 委員長報告
委員長報告への
多数決で議案等の
賛否を決定します。
質疑・討論・採決
追加議案の提案説明
質疑・討論・採決



3月14日 委員会 総務消防委員会
3月17日 委員会 教育民生委員会
3月18日 委員会 市民建設委員会
3月19日 委員会 新庁舎建設特別委員会

いよいよ議会がスタート
市長から26年度の市の運営方針や議案
の説明を聞きます

議案の分からない点を
質疑します。

日頃の議員活動で市民の方からの課
題等を幅広く質問し、改善等を要望
します。(3~8ページ参照)

議案等は委員会ですっかり議論し
ます。(9ページ参照)

議会日程

~開会から採決まで~

3月 3日 本会議 施政方針・提案説明
委員会 議会運営委員会

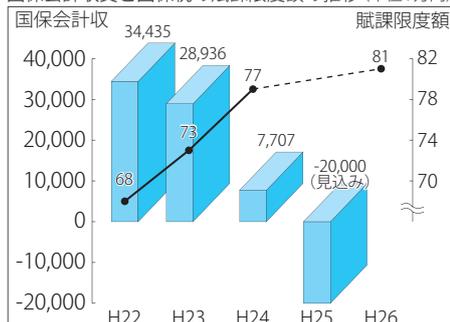
3月 13日 本会議 (議案質疑・委員会付託)
委員会 議会運営委員会

3月 10日 本会議 一般質問(代表・個人)

3月 11日 本会議 一般質問(個人)

3月 12日 本会議 一般質問(個人)

国保会計収支と国保税の賦課限度額の推移(単位:万円)



「原則として、受益者負担」との意見もありますが、被保険者に「無職者・低所得者」が多いという国保の構造的な問題もあり、国保の引き上げに加え、国からの財政支援の拡大等の財政安定化対策が望まれます。

議員 前回の国保税の引き上げ以降は、当分値上げの必要がないと考えていたが、今回の値上げの主な要因は、平成25年度の会計収支について、保険給付費の伸びが対前年度比6%程度高くなる結果、実質収支が2億円程度の赤字となる見込みです。

要CHECK!

国民健康保険税
条例の一部改正

◎賛成多数で可決
近年、厳しい財政状況が続く国民健康保険特別会計の収支の改善を図るため、国民健康保険税が2年ぶりに引き上げられます。

一般質問



一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めるために行うものです。

3月定例会では所属3人以上の会派が代表質問を行うことができ、今定例会では2会派が代表質問を行い、8名の議員が個人質問を行いました。

質問の要旨を質問順に掲載しています。

(代表質問は3～4ページ、個人質問は5～8ページに掲載しています)

代表質問

中河哲郎議員

新 政 会

▼坂出北インターフル化の早期実現に向け建設整備促進期成同盟会の結成を

問 他市においては、関係市町村の首長、国会議員、県議会議員、市議会議員、民間代表で構成する建設整備促進期成同盟会を結成し、官民一体となった取り組みによってフルインター化を早期に実現している。本市においても速やかに推進協議会等を設置すべきと考えるが。

答 ……市長
坂出北インターのフルインター化は、本市にとって最重要課題であり、長年の悲願でもあります。フルインター化に当たっては、事業主体や整備手法の如何が事業の成否を左右する大きな要因になることから、整備の基本方針について、国、県及び関係機関を交え慎重に検討する必要があります。これらの状況を見極めた上で、推進協議会等の設置について、しかるべき時期に適切に判断していきます。

質問の主な項目

- ・ 地域防災力の強化
- ・ 歴史、瀬戸内の多島美、農業、漁業を生かした観光コースの設定
- ・ 教育の情報化の推進
- ・ スポーツを通しての健康増進

▼市道東臨港2号線の県道以南の整備内容は

問 市道東臨港2号線の県道以南を防災機能を有した自転車歩行者道として整備する方針が示されたが、詳細な整備内容や完成後の施設管理は。

答 ……建設経済部長

県道33号線から市道旭町5号線までの延長260mの区間を、災害時には避難路として、また一時的な避難場所としても利用できる防災機能を有した自転車歩行者道を幅員4mで整備するものです。地域の方からの提案をもとに詳細設計を行った結果、ソーラー照明灯や防災機能を有したベンチ等を設置した道路として平成26年度より工事に着手していきます。道路の維持管理については、公共施設里親制度等を活用した、地域の方々の共働による管理が望ましいと考えています。



自転車歩行者道 (完成イメージ)

▼教育委員会の制度改革で本市の教育はどう変わるのか

問 国において議論されている教育委員会制度改革により、本市の教育にどのような影響があるのか。また、教育に対する自治体首長の権限強化が主眼とされているが、綾市長の教育にかける思いは。

答 ……教育長

教育長の任免権等について議論がなされていますが、これまでの教育行政の基本構造を大きく転換する内容となっています。まだ意見を述べる段階ではありませんが、この制度改革の仕組みが機能をより発揮するためには、首長が教育長と十分な意思疎通を図るのは当然として、教育委員会との間で、地域の教育課題、教育の在るべき姿を共有し、それぞれの役割と責任を果たしていくことが大切であると考えています。

答 ……市長

教育行政の中立性、継続性、安定性を担保しつつ、教育委員会と互いに連携を取り合いながら市政運営を進めていくことが肝要であると認識しています。今後とも教育委員会の機能を十分發揮していただくとともに、相連携して坂出の人づくりに取り組んでいきます。

前川 昌也 議員

市民グループ
未来の会

▼人口増施策に関する基本的な考えは

問 全国的に人口減少が進む中、本市も例外ではなく人口が減少している。「人口増やして元気な町に」をスローガンに掲げる市長も現在2期目に入ったが、人口が増加傾向にある隣接地の宇多津町との違いや住みたいと思えるまちづくりのための基本的な考えは。

答…市長

人口増施策はまちづくりそのものであり、市政全般の中で取り組む重要課題です。社会保障を政争の具とするのは、いささか疑問を感じますが、本市の人口減少に歯止めをかけることは急務であり、医療費助成や個人給付等で都市間競争が生じている現状下、費用対効果や継続可能な制度であるか否かを見極め、あらゆる施策に積極的に取り組む必要があると考えています。

- 質問の主な項目**
- ・ 第5次行財政改革大綱
 - ・ 消防力の強化
 - ・ さかいてまろの活用
 - ・ 新市立病院開院に向けて



ドラマ収録風景

▼フィルムコミッションで新たなにぎわい創出を

問 フィルムコミッションを創設した北九州市では昨年17本のドラマや映画の撮影が行われ、タレントやスタッフの宿泊はもちろん、外食やレンタル産業などの経済効果は3億円ともいわれている。本市もテレビロケが再々行われているが、市をあげて支援する体制を作り、さらなるにぎわいにつなげてはどうか。

答…建設経済部長

本市には、歴史ロマン薫る五色台や世界に誇る瀬戸大橋、瀬戸内の多島美など豊富な観光資源があり、これらを全国にPRする手法として、映画撮影などを誘致するフィルムコミッション事業を取り入れることは、地域の活性化や文化観光の振興が図れるなど大きなメリットがあります。今後とも機会あるごとに誘致に努めます。

▼学校再編整備実施計画の後期計画を見直す考えはないか

問 計画策定当時とは、児童数の推移の変化に加え、校舎の耐震整備などハード面での状況もかなり変化している。今後、後期計画を見直す考えはないか。

答…教育長



坂出中学校



東部中学校

後期計画で統合が予定されている坂出中学校と東部中学校は、両校とも耐震補強を終えており、さらに今年度は国の交付金を活用したトイレの改修やエアコンの設置を行うなど、教育環境の充実を図っている状況です。また、統合を考へるに当たって、重要な要素となる生徒数については、校区内の小学校の児童数がほぼ横ばいの状態であることから、中学校の生徒数の減少に歯止めがかかる可能性もありません。新年度には、こうした状況分析と将来予測を行い取り組みを進めていきます。

いっしょに考えていきませんか
わたしたちのまちのこと

議会の傍聴のご案内

本会議、委員会はご自由に傍聴いただけます。

また、お体のご不自由な方も車いすのままで傍聴できますので、お気軽にお越しください。



会議録のご案内

本会議での質問や答弁などの発言は、毎回、会議録にまとめられ、図書館または市議会ホームページから自由にご覧になれます。

ぜひご利用ください。

脇 芳美 議員 新 緑

▼特定不妊治療費助成事業の成果は

問 全国的に晩婚化が加速し、出生者数が大幅に減少している。本市において有効な人口増施策として本年度より特定不妊治療費助成事業を開始したが、その活用状況や成果、周知方法は。

答…健康福祉部長

不妊治療は高額な費用を必要とすることから、受療者の負担軽減を図るとともに、費用面で治療を断念するケースの減少につなげ、出生率の向上にも資することを目的に特定不妊治療費助成に新たに取り組んでいます。今年2月までの実績は、助成決定者8名、件数11件で、年齢の内訳は20代1名、30代4名、40代3名であり、そのうち1名の方が妊娠されました。今後はホームページへの掲載に加え、指定医療機関へチラシの配布協力をお願いするなど市民への周知に努めていきます。



▼巨大地震等の災害に備えた消防団員の確保を

問 消防団員は火災に備えるだけでなく、東日本大震災発生の際には、住民の避難誘導や救助に活躍するなどその役割は重要であるが、団員数は年々減少している。本市でも南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中、団員確保に向けた対策の強化が必要であるが、現在の消防団員の状況を伺う。また、体力、技術、意欲のある方は65歳の定年後も、1年延長して契約するなど団員確保に努めるべきでは。

答…消防長

本市の消防団員は、現在、定員550名に対し、総員530名で20名不足している状況です。また市内に勤務している団員は110名で全体の21%です。定年後も1年延長して契約することに関しては、先進地の事例等を調査研究しながら、慎重に検討し判断していくとともに、今後も、引き続き、団員確保に向けて鋭意取り組みます。

質問の主な項目

- ・特定不妊治療費助成事業
- ・消防団員の確保
- ・電力自由化についての本市の対応

斉藤 義明 議員 市民の声

▼新年度における「愛郷育」、「愛敬育」の施策展開は

問 市長は、2期目就任以来、新たなまちづくりの視点として「愛郷育」、「愛敬育」を挙げられているが、新年度予算にどのように反映させ施策を展開していくのか。

答…市長

故郷を愛する心を育む「愛郷育」、人を思いやる心を育む「愛敬育」を新たなまちづくりの視点として取り入れていきます。新年度予算においては、「さかいでまろ」広報推進委員会負担金、にぎわい創出事業補助金、学校ボランティア支援事業、まち歩き観光補助金、讃岐国府跡探索事業、塩業資料館校外学習活動、郷土愛を育む活動紙芝居複製などに予算を計上しています。



質問の主な項目

- ・第5次坂出市総合計画
- ・債権回収マニュアルの作成
- ・自主防災組織の活動支援

▼様々な教育問題への対応は

問 学力テストの結果公表は、新年度から市教育委員会の判断に委ねられるが、本市では結果を公表していく考えか。

答…教育長

各学校の平均点については、地域の序列化につながる恐れがあること、テストは学力の一面面しか測れないことから、公表しないこととしています。

問 いじめ等を理由に指定校を変更し、校区外の小・中学校に通学することはできるのか。

答…教育長

保護者の気持ちは良く理解できませんが、学校も教育委員会もいじめについての正確な把握に努め、その解決に向けて全力で取り組んでいますので、安心して入学してください。ご希望したいと思います。

手続きとしては、坂出市立小・中学校指定校変更許可に伴う基準に基づき指定校の変更を行っています。が、いじめの噂があるから指定校を変更してほしいという要望は現在のところ受けていません。どうしても指定校を変更しなければならぬ場合の理由や客観的な理由がある場合には、教育委員会でも十分に審議し、対応していきます。

出田 泰三 議員

市民の声

▼ 経営的視点に立った公共施設管理体制の確立を

問 財政状況や人口構成など将来の変化を見据えながら、既存の施設を限られた予算と人員で有効に活用していくため、幅広く議論をする必要がある。そこで、公共施設の現状を把握し、議論の基礎となる資料として「白書」の作成が必要ではないか。

答…総務部長

公共施設マネジメントにおける基礎データを集めた資料作成は、施設の総量の抑制、長寿命化、維持管理、跡地の有効活用等にとって重要です。

平成26年度早々に、国から、固定資産台帳の整備方針等が示される予定であることから、現在、地方公会計制度も視野に入れ、関係部局で整備を図っています。その整備方針等も参考として、基礎データをまとめて作成した資料を公表できるよう取り組んでいきます。



里山めぐりツアー

▼ 坂出の新たな魅力として「里山巡り」を盛り上げる取り組みを

問 高齢者の健康づくりに有効とされる里山歩きは観光面でもメリットが大きい。観光協会が4月から始める里山めぐりを活用して、特典付きスタンプラリーの創設や里山ガイドブックを作成するなど、にぎわいづくりに積極的に取り組んでほしい。

答…建設経済部長

市内には飯野山をはじめ角山や笠山など手軽に登ることができ、健康づくりに適した里山が数多くあることから、観光協会の主催により「さかいで里山めぐり」が開始されます。その概要は、第1回の開催日が新緑時期でもあることから、単に登るだけでなく、散策しながら専門家のアドバイスにより野草を食すといった内容を組み込むなど季節を肌と舌で体感するコースとなっています。今後、スタンプラリーの創設やガイドブックの作成を含め、参加者が魅力や興味を感じる内容となるよう観光協会とともに研究していきます。

質問の主な項目

- ・公共施設マネジメント
- ・食の魅力の開発
- ・音楽でにぎわいづくり

松成 国宏 議員

公明党議員会

▼ 金山ニュータウン進入路周辺道路の拡幅を

問 道路幅員が不足しているため、車両の交互通行を余儀なくされている金山ニュータウンへの進入路周辺道路を、金山分院跡地の墓地整備に合わせ、拡幅すべきと考えるが。

答…建設経済部長

金山ニュータウン進入路につながる市道南新開2号線は、幅員3m程度と狭隘な道路と認識されていますが、福江松山線は、南部公民館進入路までの現在の事業区間が完了すると、引き続き、池園町のマルヨシセンター交差点までの区間、約220mの整備に取り組み予定です。

このため、進入路周辺の整備については、現在事業を進めている京町線、室町谷内線の進捗を見極めた上で、都市計画決定の見直しも視野に入れ、整備区間の検討を行っていきます。



金山ニュータウン進入路周辺

▼ 公会計制度改革を推進し、地域目線で財政状況の「見える化」を

問 厳しい財政状況が続く中、財政運営の透明化を図る上で、公会計制度の改革に取り組み、複式簿記・発生主義会計を採用すべきであるが、その大前提となる固定資産の台帳整備の状況は。

答…総務部長

公共施設の維持管理や更新等を総合的かつ計画的に進めるためにも、固定資産台帳の整備は必要不可欠であると認識しており、現在、国の基準に基づき、台帳整備の作業を行っています。活用できるまでに至っていないのが現状です。また、現在作成している貸借対照表は、固定資産台帳の数値ではなく、より簡易な総務省方式改定モデルにより作成されており、固定資産台帳との整合性は図られていません。

今後とも国の動向を注視しつつ、他市町の動向も留意する中で、将来にわたって有効な活用が行えるよう、台帳整備に向けた取り組みを遅滞のないよう進めていきます。

質問の主な項目

- ・情報通信格差の是正
- ・子育て世帯臨時特例給付金
- ・法人市民税の国税化

野角満昭議員

日本共産党
議員会

法定外繰り入れにより国保税の据え置きを

問 国保世帯への高負担を解消するため、国庫負担金等の増額を求めるとともに、一般会計からの法定外繰り入れを行うべきでないか。

答…健康福祉部長

市町村国保に対する国庫負担金等の増額については、全国市長会や国保中央会等を通じ、国に要求を行っています。また、一般会計からの法定外繰り入れについては、国や県から適当でない旨の指摘があります。が、福祉医療費助成の実施により減額されている国庫負担金等を補填するため、平成26年度より実施する予定です。

今後、予定されている国保制度改正の影響を見ながら、国保税率の見直しも含め、法定外繰り入れの在り方等を検討していきます。



さらなる人口増施策の展開は

問 市長は、これまで人口増施策を推進するため、プロジェクトチームを立ち上げ、そのチームによる提案を基に保育料引き下げ、出産祝い金の増額などを実施し、新年度にはさらに子ども医療費助成の拡充や新婚世帯への家賃補助制度の創設など次々と施策を実施している。今後の更なる施策の充実方向についての取り組みは。

答…市長

「人口増やして元気な町に」をスローガンに市長に就任し、「坂出に住んでよかった」さらには「坂出に住みたい」と思っていただけの町をつくり上げていくことが人口増施策の全体的な理念であると考えています。今後も、プロジェクトチームからの提案実現も可能な範囲で取り入れながら、多くの方の意見を伺う中で、制度の有効性や公平性、財政的に持続可能な制度であるかなどを検討し、人口増施策に取り組んでいきます。

質問の主な項目

- ・新年度の施政方針
- ・カーナビ使用料徴収問題
- ・国民健康保険税の引き上げ方針

植條敬介議員

新夢会

災害時要援護者避難支援計画を見直す考えは

問 災害発生時に自力では避難することが困難な方を対象に、避難支援をスムーズに行うため、事前にその名簿を作成し、必要な範囲で消防などの関係機関に名簿情報の提供ができるよう法律の改正が行われた。これを受けて本市の災害時要援護者避難支援計画を見直す考えはあるのか。

答…副市長

多くの高齢者等が犠牲となった東日本大震災の教訓から、避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられたことに加え、本人の同意のもと、名簿情報を自主防災組織等の支援者へ提供できるようになりました。今後、要支援者の把握や名簿の作成方法、同意確認の方法を定めるとともに、自主防災組織における要支援者と地域の支援者が参加する訓練の実施などを検討していきます。



震災時対策避難防災訓練

旧坂出ハイツを活用した子育て支援施設の概要は

問 新年度より、旧坂出ハイツを新たに子育て支援施設として活用する予定であるが、これまでの地域での世代間交流やボランティアの協力等が得られる地域支援に加え、子育てに関する情報の集約や提供を行う利用者支援機能を備えた地域機能強化型の施設として事業を進めることが重要と考えるが。

答…健康福祉部長

旧坂出ハイツを活用して新年度より整備する子育て支援施設は、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う地域子育て支援拠点事業を実施するとともに、児童に安全で健全な遊びの場を提供するもので、利用者支援機能と地域支援機能を備えた地域機能強化型の事業の実施には、地域における子育て支援機能の充実等の効果が見込めますが、利用者支援のための専任の職員の配置が必要であり、施設の運営・管理方法等と併せた検討が必要であると考えています。

質問の主な項目

- ・災害対策基本法の改正に伴う課題
- ・子育てコーディネーターの養成
- ・学校支援ボランティア

松田 実議員

社会民主党
議員会

総合防災備蓄倉庫を整備して
はどうか

問 災害時に、避難所で長期に安心して過ごすために、停電時に使用する発動発電機、暖房器具、組立トイ、布団セット、移動可能な炊飯器などの資機材の備蓄が必要である。そこで、支援物資の一時保管や防災関係者の待機、訓練、また、防災教育に用いる研修室等を備えた総合防災備蓄倉庫を整備してはどうか。

答…総務部長

現在、内閣府が検討している南海トラフの頻度の高い地震の被害想定
の避難者数が平成17年3月に出され
た南海地震の被害想定
の避難者数を大きく上回る可能性があり、食糧や水等の生活必需品等の備えは必要になると考えていますが、消防団の待機場所、訓練、防災研修室等を備えた総合防災備蓄倉庫の整備については、現段階では大変難しいと考えています。

- 質問の主な項目
- ・新規職員の採用計画
 - ・避難経路の安全対策と誘導の徹底
 - ・災害対策用物資の備蓄状況及び備蓄品の点検と補充、物資の見直し

カヌー人口の底辺拡大と競技
力向上に向けた取り組みを

問 カヌー競技指導者等の人材不足が課題となっているが、競技関係者確保に向けてどう取り組むのか。

答…教育部長

引き続き地元協会が組織強化に努めるとともに、新年度においては、カヌー経験者によるマスターズ大会の開催やカヌー審判員養成講習会等への支援、指導者人材バンクを設置するなど「カヌー指導者育成事業」を新たに実施し、カヌー協会とともに指導者や協力者の確保に努めていきます。

カヌー研修センターの駐車場の
確保に向けての取り組みは。

答…教育部長

以前から地元要望もある中、市道綾坂平石線沿いの県有地を新たに取得し、カヌー研修センター駐車場として活用していきます。



駐車場用地周辺

山条忠文議員

改進の会

学校現場での課題解決のために
スクールロイヤー制度を取り入
れては

問 昨今、いじめ問題など学校現場のみでは解決困難な事例が増加しているが、学校現場に弁護士を配置することで、法的根拠に基づいた、迅速な対応が可能となると考えるが。

答…教育長

現在、弁護士による相談事業として、香川県教育委員会が学校問題解決サポート事業を行っています。東部及び西部の各教育事務所管内ごとに、1名の弁護士がアドバイザーとして選任されており、小中学校における理不尽な要求や苦情等の、学校だけでは解決困難な問題事を担当者が直接弁護士に相談し対応しています。

本市教育委員会としては、当該事業を積極的に活用することにより、学校現場での様々な問題に苦慮している教職員等の負担が軽減できるものと考えています。

- 質問の主な項目
- ・学校施設長寿命化改修の手引き
 - ・認知症地域支援推進員
 - ・社会福祉施設の防災対策の推進

認知症支援のために認知症力
フェの普及を図っては

問 今後、高齢者の増加に伴い、認知症高齢者が増加することが予想されるが、認知症の人やその家族等に対する支援として、認知症に関わる誰もが参加でき、和やかに集う場として認知症力フェの取り組みが推進されていることから、本市も同様の事業を推進してはどうか。

答…健康福祉部長

現在、地域包括支援センターにおいて、認知症の人や家族が集える「ほえみの会」を立ち上げ、相談等を通して精神的な負担軽減に努めています。地域全体で認知症の人とその家族を見守り、支援する環境づくりが重要と考えています。

今後、認知症に関する正しい知識の普及啓発に努めるとともに、認知症力フェについて、民間活力も視野に入れた運営方法等、先進地の事例も調査研究しながら、実施に向けて検討していきます。



総務消

特典の充実によりふるさと納税の利用促進を図っては

3月14日に委員会を開催し、付託された議案を審査した結果、いずれも可決すべきものと決しました。

主な質疑・意見等は次のとおりです。

問 ふるさと納税制度の利用促進を図るために、豪華返礼品を贈ること
で知名度向上や特産品のPR等に活用している事例が全国的に増加していることから、本市においても返礼品の充実を図ってはどうか。

答 現在、5万円以上の寄附をいただいた方に金時人参などの本市特産品の詰め合わせセット「金時三昧」を贈呈して

いますが、さかいでブランド等のよりPR効果の高い返礼品についても検討していきます。



問 定住促進策として新たに開始する新婚世帯に対する家賃補助に加え、新築に対する補助も行ってはどうか。

答 他市の事例から、補助額が非常に高額となることが予想され、財政的に困難であると考えています。

教育生

子供の医療費助成を拡充へ

3月17日に委員会を開催し、付託された議案を審査した結果、いずれも可決すべきものと決しました。

主な質疑・意見等は次のとおりです。

問 子供の医療費助成の県内の状況は。

答 大多数の市町で、本市と同様に中学3年生までの通院や入院に係る医療費の助成を実施、予定していますが、医療機関の窓口での支払いを要しない現物給付方式を採用しているのは、3市のみです。本市は子供をもつ家庭により配慮していると考えています。

問 子育て家庭にとって医療費助成は大変ありがたいが、一方で、不要な受診を増やさないようなモラルハザード対策も必要と考えるが。

答 子供の健康管理は保護者が責任をもって対応することが大前提であると考えていますが、母子保健事業で実施している子供の健康管理に対する指導啓発の充実を図ることで対応していきます。



民設市建

民間住宅の耐震対策支援の促進を

3月18日に委員会を開催し、付託された議案を審査した結果、いずれも可決すべきものと決しました。

主な質疑・意見等は次のとおりです。

問 近い将来発生が危惧される巨大地震から生命を守るためにも、住宅の耐震化は急務である。市や県の耐震対策支援事業の周知方法は。

答 住宅耐震に対する市民の認識がまだ十分でないことから、県と共同で住宅密集地を重点的に支援事業の周知等に努めています。

問 生活の中心となる住居の一部に対する耐震化も補助対象とする考えはないか。

答 住宅耐震化促進の方策として、先進地の事例等を研究していきま

す。



委員会の現地視察として、25日に海上より坂出港の現状調査を行いました。

設会

市民に開かれ、市民が気軽に訪れられる新議場に向けて！

平成24年11月に新庁舎建設市民会議が発足し、新庁舎の建設着手に向けて本格的な議論が始まるとともに、平成25年1月臨時会で当委員会を設置し、執行部の提案に対して、市民の利便性を重点に考察、検証を加えること、また、議場や議員控室など議会関係の配置に関し、よりよい姿に導くことを眼目に、議論を重ねてきました。

昨年5月に策定された基本構想では、現庁舎跡地での建て替えにより、平成29年度に新庁舎の完成を目指すことが示されました。

現在、基本構想で掲げた基本理念等をもとに、新庁舎の具体的な整備方針や配置構成の検討を行う新庁舎建設基本計画を策定中です。

委員会では、議場のバリアフリー化はもとより、ICT環境を整備し議会のインターネット中継を可能とするなど、様々な意見が出されました。今後、市民会議での議論を経て、基本計画が策定されます。



平成26年 3月定例会の審議結果

議員数 = 22名 表決参加議員数 = 20名
 会議に欠席した議員 = 1名
 ※議長は表決には加わりません。

可決
 賛成 19名
 反対 1名

市長提出議案
議案第40号
**坂出市国民健康保険税条例の
 一部を改正する条例制定**

原案可決に

賛成
 齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、脇 芳美
 村井孝彦、楠井常夫、末包保広、別府健二、植條敬介
 前川昌也、大藤匡文、松田 実、若杉輝久、松成国宏
 吉田耕一、中河哲郎、山条忠文、東山光徳

反対
 野角満昭

反対意見（要旨）国保会計の赤字は国民健康保険税の値上げではなく、市税の繰り入れで補填すべきである。

可決
 賛成 18名
 反対 2名

市長提出議案
議案第53号
**平成26年度坂出市一般会計
 予算案**

原案可決に

賛成
 齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、村井孝彦
 楠井常夫、末包保広、別府健二、植條敬介、前川昌也
 大藤匡文、松田 実、若杉輝久、松成国宏、吉田耕一
 中河哲郎、山条忠文、東山光徳

反対
 脇 芳美、野角満昭

反対意見（要旨）同和対策事業（脇議員、野角議員）、ごみ処理手数料有料化事業（野角議員）に関し反対である。

可決
 賛成 19名
 反対 1名

市長提出議案
議案第54号
**平成26年度坂出市国民健康
 保険特別会計予算案**

原案可決に

賛成
 齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、脇 芳美
 村井孝彦、楠井常夫、末包保広、別府健二、植條敬介
 前川昌也、大藤匡文、松田 実、若杉輝久、松成国宏
 吉田耕一、中河哲郎、山条忠文、東山光徳

反対
 野角満昭

反対意見（要旨）国民健康保険税の値上げを前提とした予算に反対である。

可決
 賛成 19名
 反対 1名

市長提出議案
議案第63号
**平成26年度坂出市後期高齢
 者医療特別会計予算案**

原案可決に

賛成
 齊藤義明、出田泰三、若谷修治、茨 智仁、脇 芳美
 村井孝彦、楠井常夫、末包保広、別府健二、植條敬介
 前川昌也、大藤匡文、松田 実、若杉輝久、松成国宏
 吉田耕一、中河哲郎、山条忠文、東山光徳

反対
 野角満昭

反対意見（要旨）高齢者の人権、尊厳を擁護する立場から当該医療制度の廃止を求める。

全議員が賛成した議案
 （可決・同意）

市長提出議案

予 算	平成26年度坂出市国民健康保険与島診療所特別会計予算案 など予算案 17件
条 例	坂出市地域の元気臨時基金条例制定 など条例案 12件
そ の 他	坂出市公平委員会委員の選任 など人事案件 2件 市道路線の廃止 などその他案件 4件

議案内容等の詳細は、
 坂出市議会ホームページ【議案内容等・審議結果】をご覧ください。

政務活動費収支報告

政務活動費とは、地方自治法に基づき、市長が議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するものです。その交付額や交付対象については坂出市議会政務活動費の交付に関する条例で定めており、各会派に対し1人当たり年額25万円を交付しています。



平成25年度の収支状況をお知らせします

(単位 円)

会派名	新政会	市民グループ未来の会	公明党議員会	市民の声	改進の会	社会民主党議員会	日本共産党議員会	新緑	新夢会
会派人数	7人	5人	2人	2人	2人	1人	1人	1人	1人
交付額	1,792,000	1,186,800	500,000	500,000	500,000	250,000	250,000	250,000	208,000
使 途 の 内 訳	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0	0
	研修費	59,170	70,780	266,630	374,100	0	229,650	0	71,200
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
	調査旅費	1,256,210	693,150	0	11,200	0	0	0	73,710
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	6,068	0	0
	資料購入費	0	41,000	29,100	0	0	4,000	0	0
	広報費	52,500	198,450	0	73,500	0	0	250,000	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
残 額	424,120	183,420	204,270	41,200	500,000	10,282	0	178,800	91,680

※会派構成に変更があったため1人当たりの交付額が25万円に満たない会派があります。

使途の内容

- ・調査研究費……………調査研究及び調査委託に関する経費
- ・研修費……………研修会、講演会等への参加に要する経費
- ・会議費……………各種会議に要する経費
- ・調査旅費……………先進地調査又は現地調査に要する経費
- ・要請・陳情活動費…要請、陳情活動を行うために必要な経費
- ・資料作成費……………必要な資料の作成に要する経費
- ・資料購入費……………必要な図書、資料等の購入に要する経費
- ・広報費……………市政について住民に報告するために要する経費
- ・広聴費……………市政等に対する要望や意見の聴取等に要する経費
- ・人件費……………政務調査活動を補助する職員を雇用する経費

使途の詳細については市議会ホームページをご覧ください。
また、研修会や行政視察の報告書は議会事務局で閲覧できます。



VOICE

～まち歩きの中で～

昭和 52 年 2 月 1 日に創刊された議会だよりも今号で 150 号を迎えました。大橋記念図書館で議会だよりや議会に対する意見を聞いてみました。



図書館友の会 会長
石井 雅夫さん(青葉町)

A1

議会だより創刊第 150 号おめでとうございます。議会だよりは毎回必ず目を通します。議員が質問した内容などが分かって良いと思います。

A2

一方的に議会活動を報告するのではなく、市民の意見が反映できるような紙面づくりも必要では。期間限定のお試し企画で、議会だよりモニター制度なんか取り入れてもいいんじゃないかなあ。

A1

市の広報と一緒に送られてくるので、議会だよりのことは知ってます。でも、内容をしっかり読みこむことは少ないかな。

A2

私たちがせっかく選んだ議員が議会でどんな活動をしているのかが分かりづらい気がします。議員の普段の活動が紙面を通して伝われば、もっと議会が身近に感じられると思います。



金田 友実さん
彩ちゃん(新浜町)

質問

Q1 議会だよりは読まれていますか？

Q2 これからの議会だよりに望むことは？

150号記念プレゼント

さかいでブランド詰め合わせセット (1,500 円相当) を 15 名様に!

クイズ

議会だよりが創刊されたのは、
昭和〇〇年2月1日
〇〇にはいる数字は？

応募方法

クイズの答え・議会だよりの感想(必須)・住所・氏名・年齢・電話番号をはがきに書いてお送りください。

さかいでブランド をご存じですか？

坂出にこだわった坂出ならではの逸品を集めた「さかいでブランド」認定マークが目印です。詳しくは産業課まで Tel 0877-44-5012

応募先

〒762-8601 (住所は不要です)
坂出市議会事務局「150号記念プレゼント係」
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
※いただいた個人情報は厳重に管理・保護いたします。



議 政 さかいで
since 2011



編集後記

まずもって、150号記念の議会だより編集後記まで熱心に目を通していただきました皆様に心より感謝申し上げます。市民の皆様と議会の架け橋として発行を重ねること150回。この間の編集に携わった歴代の委員、議会事務局の担当の方々への労に報いるためにも、これからは正念場と思いを新たにするところです。

今後も、より市民の皆様の目線に立って市民ニーズを敏感にキャッチし、それに応えられる的確な議会情報を提供できるよう、努力を惜しまないことをお誓い申し上げます。記念号の結びとさせていただきます。(村井)

広報広聴委員会

委員長： 出田泰三
副委員長： 若谷修治
委員：
茨 智仁 村井孝彦
植條敬介 松田 実
若杉輝久 木下 清

3月定例会で同意した
人事案件【敬称略】

◎坂出市公平委員会委員

中川 英世 廣瀬 碧

◎坂出市固定資産
評価審査委員会委員

野田 邦男 中村 康男
今池 良雄

臨時会を5月中旬に、
6月定例会を6月中旬
旬に開催予定です